

五月臨時会・六月定例会

5月臨時会は、5月1日に開催され、議会人事、監査委員人事が諮られました。

6月定例会は、6月6日から6月20日までの15日間の会期で開催されました。「下諏訪町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」はじめ、「下諏訪町子ども未来基金条例の一部を改正する条例」「平成29年度一般会計補正予算」など17議案を審議しました。

こ
ん
に
ち
は

しもすわ 町議 会

で
す

♥♠♣ ◆ ここに注目 ◆ ♣♠♥

皆様のご意見を政策に！………13

議会報告会………14

好きです しもすわ………16

VOL.16 平成29年(2017)7月28日

編集／広報特別委員会 発行／下諏訪町議会

電話(0266)27-1111 FAX(0266)27-1237

<http://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/genre/1000100000096/index.html>



一気をつけて帰るんだよー ボランティア子供を見守る会

新体制がスタート



開かれた議会をめざして

活動的な議会を

議長 林 元夫

5月1日の臨時議会から、残りの議員任期2年間で、下記の構成により議会を進めてまいります。皆様のご協力をお願いいたします。

これからの議会の方向性を、議長就任にあたり3項目示させていただきました。一つ目は、

議会のチェック機能の強化

です。これは学習会を開催するなどして、議員資質の向上とともに財政や施策の課題研究をすること、情報共有を密にすること、また客観的事務事業評価を実施して、町で行われる事業に対して正確な評価を行うなど、チェック機能をより強固なものとしていきます。二つ目として、

提案する議会の推進

です。これまでのように各種団体との懇談会などを通じて、町民の声を真摯に多面的に聞くことにより、町に政策提言していこうと思います。三つ目として、

議会改革のより一層の推進

です。議会基本条例は制定して3年が経過し、検証の時期を迎えています。実際に基本条例に沿って議員活動がなされているのかを精査していきます。そしてその過程の中で、これからの議会のあるべき姿を模索していこうと思っています。

中村前議長の推進してこられた「開かれた議会」の継承はもちろんですが、いろいろなイベントへ参加するなど、町民の皆様といつも一緒に考え行動する、アクティブで、活発な議会にしていきたいとも考えています。

しかしながら浅学非才の私であります。議員諸兄のご支援をいただくことはもとより、町長をはじめ、町理事者及び職員の方々のご協力、なによりも町民の皆様方のご支援がなければ何もできません。改めてここに皆様のご協力をお願い申し上げます。

下諏訪町議会は この構成です

◎委員長 ○副委員長

◆議会運営委員会◆

◎金井 敬子 ○藤森スマエ 森 安夫 青木 利子 中村 奎司

◆総務経済常任委員会◆

◎森 安夫 ○藤森スマエ 岩村 清司 田嶋 彰
金井 敬子 河西 猛

◆生活文教常任委員会◆

◎青木 利子 ○中村 光良 小池 忠弘 中村 奎司
宮坂 徹

◆バイパス対策特別委員会◆

◎岩村 清司 ○田嶋 彰 青木 利子 中村 奎司
藤森スマエ 林 元夫 宮坂 徹◆砥川治水・赤砂崎防災公園化等
対策特別委員会◆◎河西 猛 ○中村 光良 小池 忠弘 森 安夫
金井 敬子 林 元夫 宮坂 徹

◆広報特別委員会◆

◎宮坂 徹 ○金井 敬子 岩村 清司 森 安夫
青木 利子 中村 奎司

常任委員会

特別委員会

議長 林 元夫
副議長 宮坂 徹

議会事務局

6月定例会で総務経済常任委員会に付託された議案は5議案で、すべて原案通り可決しました。注目される議案の概要についてお知らせします。

- ・ 労災リハビリ跡地利用検討開始
- ・ 「防災セット」好評につき、予算増
- ・ 「ふるさとまちづくり寄附金」
20名から492万円のご寄附

マイナンバー

部局間提供が可能に

平成29年7月から、特定個人情報保有機関間の情報連携が開始することに対応するための条例改正です。

特定個人情報とは、それぞれ個人が持っている情報、住所、氏名など基本的なものにマイナンバーが加わるものです。

今回該当する具体的事例は、児童手当に関する事務として認定請求等の受理審査、現況届の受理審査および官公庁に対する資料提供の3つと、保育に関する事務です。児童手当と保育は教育委員会部局で行われており、町長部局との個人情報提供・検索を行うことが可能になります。

討論では、賛成討論として、「当町の利用は子育て支援など限られており、情報漏れも無いようにやって欲しい」「マイナンバーの記載がなくても手当の受理はされるので賛成」。また反対討論として、「情報漏洩が心配。個人情報の活用範囲を広げていくことに反対」との意見が出されました。挙手多数で可決されました。

補正予算

歳入歳出それぞれ5605万8千円を追加し、予算の総額を76億4735

万8千円とするものです。「しごと創生拠点施設整備事業」および「しごと創生推進事業」における財源として、しごと創生事業債1940万円の追加など。

挙手全員で可決されました。主な内容は次の通り。

しごと創生拠点施設の整備開始

移住定住促進費3478万円は、星が丘のしごと創生拠点施設（労災リハビリテーションセンター長野作業所跡地）を活用するための施設整備のために、有利な起債を活用するとともに、国の地方創生推進交付金も活用して、新しい価値を創造するリノベーション・クラフトタウン事業を行うものです。活用するための最低限の管理事務スペース・トイレ・上下水道・電気設備などの施設に手を入れます。耐震診断は、昭和56年以前建設の体育館などで実施します。

商工費補助金730万円は、地方創生推進交付金「諏訪圏6市町村によるS U W Aブランド創造事業」に106万円、「諏訪の国ブランド展開と観光推進組織基盤創生事業」に99万円、「新しい価値を創造するリノベーション・クラフトタウン事業」に525万円が内示されたことによるものです。

災害用備蓄増に貢献

行政だけで災害時の備蓄品を完備するのは困難です。そこで、今年度予算に「家庭用災害備蓄品セット」2500セット分の経費が計上されましたが、2649セットの購入希望の申込みがありました。今後の購入希望も考慮し、3000セット分149万円を追加する補正です。



好評な「防災セット」

「ふるさとまちづくり寄附金」は、4月～5月の間に、20名の方から合わせて492万円のご寄附を賜りました。制度が創設された平成20年度以降の累計は234件、4180万円。
なお、昨年度の合計は寄附額1132万円、住民税控除額1000万円でした。

生活文教常任委員会に付託された議案は5議案で、すべて原案通り可決しました。賛否が分かれた議案や注目される議案の概要についてお知らせします。

・財政健全化のため 国保税平均15%引き上げを承認 ・こども未来基金を「こどもらんど」や 「子どもの居場所づくり」に活用

国保税値上げ

平成30年度に行われる国保事業の県移管をふまえ、国保財政の健全化と事業の安定的運営を目指し、平均で15%国保税を引き上げるもの。所得階層別の改定影響は下表のとおりで、低所得者層に影響が少なくなるよう配慮がされたこと、引上げにより増えることが心配される滞納については、納税相談等で対応することが説明されました。

賛成討論では「健全な財政に向けた改正で、国保運営協議会でも確認されている」、「低所得者への軽減も考慮されている」、「国保税と医療費はバランスが必要で、応分の負担は受け入れるしかない」等。

反対討論では「財政状況が厳しい国保は、暮らし・命・健康の保障の担保でもある」、「健診を受けやすくして、医療費を抑えてほしい」等。

採決の結果、挙手多数で可決しました。

税率改定に伴う国保特別会計補正

一般会計からの法定外繰入金3000万円は基金に積立てる予定でしたが、税率改正を諮問の17%から15%に引き下げたことにより、不足となる1000万円を積立てず、2000万円を本来の基金積立金とするものです。

討論では、国民健康保険税条例の一部改正を受けた補正処理で適切であり賛成。平均15%の値上げは住民に寄り

○モデル世帯による保険税率改定影響一覧

区 分	家族構成	世帯収入	所得額 固定資産税	国 保 税 (※)		
				改 定 前	改定(案)後 (平均15%)	改定前との 比 較
低所得 7割軽減	夫62歳 元自営業者	年金 72万円/年 6万円/月	2万円	33,100円/年 2,700円/月	36,600円/年 3,000円/月	3,500円/年 300円/月 (10.5%増)
	妻62歳 元専業主婦		2万円			
低所得 5割軽減	夫62歳 元自営業者	年金 108万円/年 9万円/月	35万円	51,200円/年 4,200円/月	57,600円/年 4,800円/月	6,400円/年 600円/月 (12.5%増)
	妻62歳 元専業主婦		2万円			
低所得 2割軽減	夫62歳 元自営業者	年金 168万円/年 14万円/月	88万円	132,900円/年 11,000円/月	153,600円/年 12,800円/月	20,700円/年 1,800円/月 (15.5%増)
	妻62歳 元専業主婦		3万円			
一 般	夫62歳 元サラリーマン	年金 264万円/年 22万円/月	160万円	219,100円/年 18,200円/月	259,100円/年 21,500円/月	40,000円/年 3,300円/月 (18.2%増)
	妻62歳 元専業主婦		3万円			

(※) 月額1,000円未満の端数処理の関係上、年額とは一致しません。

添うという面からは全く理解を得られないので反対。採決の結果、挙手多数で可決されました。

こども未来基金の活用拡大

基金を幅広く活用していくため、取り崩し型基金としても運用できるようにするための改正です。

近年、子どもの貧困や経済的に厳しい状況に置かれた子どもが増加。「こどもらんど」や「子どもの居場所づくり」、「その他の教育支援」に幅広く活用します。

質疑では「こどもらんど」や「子どもの居場所」の利用は、町内子どもだけでなく、例えば向陽高校生が電車を待つ時間などにも利用できる。貸与金の償還免除は幅広い教育支援で、就学援助制度や奨学金で当てはまらない場合を想定している。所得の制限をなくすことで、一時的な事でも誰でも活用できるようにすることが説明されました。「貸与だけでなく給付型としても活用できるようにするための改正で、町民ニーズに添った施策」との賛成討論があり、挙手全員で可決しました。

下中 防球ネット延長

今井邦子文学館費では、明日香社様から終刊に伴い、今井邦子文学館の維持管理に要する費用への指定寄附金30万円を賜りました。

学校管理費・工事請負費91万8千円は下諏訪中学校の校庭東側の防球ネットを延長し、飛球を防ぐための工事。

「こどもらんど」とは、経済的な事情などにより、家庭で十分な食事とれない。又は、ひとりで食事をしていく子どもに、無料もしくは安価な食事を提供する。また、地域の人々とのふれあいの時間を提供する支援活動。

一目でわかる議決結果 6月定例会

議決結果

議案第35号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全員)
議案第36号	農業委員会委員の任命について	同意(全員)
議案第37号	専決処分事項の承認を求めることについて(専決処分第2号) 平成28年度下諏訪町一般会計補正予算(第10号)	承認(全員)
議案第38号	専決処分事項の承認を求めることについて(専決処分第3号) 平成28年度下諏訪町温泉事業特別会計補正予算(第1号)	承認(全員)
議案第39号	専決処分事項の承認を求めることについて(専決処分第4号) 平成28年度下諏訪町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第5号)	承認(全員)
議案第40号	専決処分事項の承認を求めることについて(専決処分第5号) 下諏訪町税条例の一部を改正する条例	承認(全員)
議案第41号	専決処分事項の承認を求めることについて(専決処分第6号) 下諏訪町都市計画税条例の一部を改正する条例	承認(全員)
議案第42号	専決処分事項の承認を求めることについて(専決処分第7号) 下諏訪町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	承認(全員)
議案第43号	下諏訪町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく 個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第44号	下諏訪町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第45号	下諏訪町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決(多数)
議案第46号	下諏訪町町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第47号	下諏訪町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第48号	下諏訪町こども未来基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第49号	下諏訪町こども未来基金条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第50号	平成29年度下諏訪町一般会計補正予算(第2号)	可決(全員)
議案第51号	平成29年度下諏訪町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決(多数)

※主な議案の審査内容は、3～4Pをご覧ください。

陳情審査結果

平成29年陳情第3号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	採 択(全員)
平成29年陳情第4号	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情	採 択(全員)
平成29年陳情第5号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情	採 択(全員)
平成29年陳情第6号	「テロ等準備罪」を創設する法案の廃案を求める意見書提出に関する陳情	不採択(多数)
平成29年陳情第7号	国民健康保険税を引上げないことを求める陳情	不採択(多数)

意見書案議決結果

平成29年意見書案第5号	最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書	可 決(全員)
平成29年意見書案第6号	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書	可 決(全員)
平成29年意見書案第7号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	可 決(全員)
平成29年意見書案第8号	テロ等準備罪法の廃止を求める意見書	否 決(多数)

6月定例会 議案等賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています

議員名(議席順) 議案番号等	議決等結果	林 元夫	岩 村清司	小 池忠弘	森 安夫	青 木利子	中 村奎司	田 嶋彰	金 井敬子	中 村光良	河 西猛	藤 森スマエ	宮 坂徹
議案第45号	可決(多数)	斜線	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○
議案第51号	可決(多数)	斜線	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○
陳情第6号	不採択(多数)	斜線	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×
陳情第7号	不採択(多数)	斜線	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×
意見書案第8号	否決(多数)	斜線	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×

採択に対する賛成者は「○」とし、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。
可決に対する賛成者は「○」とし、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

陳情・意見書の審議結果

陳情第3号

陳情者 諏訪地区労働組合連合会

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

非正規雇用労働者が全労働者の4割に達し、労働者の4人に1人が年収200万円以下のワーキングプアに陥っています。2016年の最低賃金は長野県で770円ですが、最も高い東京都の932円に比べ218円も低い地方があり、地域経済再生のためにはこの地域間格差の是正と最低賃金の大幅な引き

上げが必要です。あわせて、中小企業への助成や融資、仕事探しや単価改善につながる施策の拡充を国に求めているという内容です。「貧困家庭を作らないよう、最低賃金1000円は必要なこと。同時に、中小企業支援も大切」との討論がされ、**全会一致で採択**しました。



陳情採択を受け、総務経済常任委員会が意見書案を提案。全会一致で可決。

意見書案第5号

最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書

陳情第4号

陳情者 長野県教職員組合諏訪支部

国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情

長野県では小中学校全学年で35人学級が実施されていますが、国の制度では小学校1年生しか定められていません。また、県や自治体独自の教員配置により複式学級が解消されていますが、義務教育標準法の裏付けがないため、地方自治体に重い財政負担を強いています。この陳情は、教育予

算を増やすことと、国の責任での35人学級の計画的推進と、複式学級解消のための学級定員数の引き下げを国に求めているという内容です。
「どの子にも等しく教育を受けられるような環境作りや、教員の負担軽減につなげるためにも大事」との討論があり、**全会一致で採択**しました。



陳情採択を受け、生活文教常任委員会が意見書案を提案。全会一致で可決。

意見書案第6号

国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書

義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情

義務教育無償化の原則を守るために設立された義務教育費国庫負担制度ですが、平成18年に財政難を理由に国庫負担の割合が2分の1から3分の1に引き下げられ、地方財政を圧迫する状況が続いています。これでは、地域による教育条件格差が生じる事態も生まれかねません。この陳情は、

来年度予算編成にあたり、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を国に求めているとの内容です。
「日本はOECDの中でも教育予算レベルが大変低く、国の予算をしっかりとつけていただくことが必要」との意見が出され、**全会一致で採択**しました。



陳情採択を受け、生活文教常任委員会が意見書案を提案。全会一致で可決。

意見書案第7号

義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書

「テロ等準備罪」を創設する法案の廃案を求める意見書提出に関する陳情

国会で審議されていた「テロ等準備罪」を創設する法案について、政府はテロ対策のために必要だと強調しましたが、どのような場面でどのように役立つのか、一般の人は捜査・処罰の対象にならないのか等、明確な説明はされていません。また、共謀準備の捜査方法についても、内心に関わることでプライバシー侵害に繋がりがかねないと懸念されるため、法案の廃止を政府に求めているというのが、この陳情の趣旨です。

付託された総務経済常任委員会では賛成多数で

「採択」されましたが、本会議において、「対象はテロ組織であり、一般の人や団体は対象外と説明されている」との反対討論と、「国会での審議を通じて様々な問題が明らかになった。内心に関わることだ」との賛成討論がされ、採決の結果、**挙手少数で「不採択」と**なりました。（尚、委員会審議後に「テロ等準備罪法」が成立したため、採決は「陳情の願意に対する賛否」をとるものとして行われました。）

国民健康保険税を引上げないことを求める陳情

町が予定している国民健康保険税率の平均15%の値上げは、被保険者にとって影響が大きい。国保被保険者には、高齢者と低所得者が多く、今でも暮らしは大変なのに、更に負担が増すことは命と暮らしには深刻な問題。国保税率の引き上げは避けてほしいという内容です。

「様々な税や保険料などの負担続きで、これ以上の負担増は避けるべき」等の賛成討論と、「国保財政はもう限界。低所得者層への十分な配慮もされているので、引き上げは妥当」との反対討論がされ、**挙手少数で「不採択」と**なりました。

意見書案第8号

テロ等準備罪法の廃止を求める意見書

国会において、参議院法務委員会採決を省略したうえで本会議で可決するという政府の異例の措置により、「テロ等準備罪法」が成立しました。一般人が対象になるのでは、プライバシー侵害の恐れがあるのでは等の国民の不安を払拭する政府の説明はされていないため、法の廃止を求める内容で、議員提案されたものです。

「政府の説明は、不十分」、「国会における強行な採決には、多くの国民が疑問を感じている」等の賛成討論に対し、「テロ対策のために、国際社会と歩調を合わせた法の整備は必要」、「国会で十分な審議は尽くされた」等の反対討論がされ、採決の結果、**挙手少数で否決**されました。

一般質問



傍聴席からの議場 右手前は車いす者用

6月定例会の一般質問は9人が質問席につきました。

下諏訪町議会では、60分の持ち時間で一问一答形式で行います。

8 P 宮坂 徹 議員

「地域おこし協力隊の事業は」

9 P 岩村清司 議員

「行政間の垣根を無くす」

青木利子 議員

「埋蔵文化財センターに期待」

10 P 中村光良 議員

「赤砂崎の右岸整備計画は」

小池忠弘 議員

「水月公園の盛り土は安全か」

11 P 河西 猛 議員

「入学前に学用品援助を」

森 安夫 議員

「給食費の無償化を！」

12 P 金井敬子 議員

「国保税値上げやめて！」

藤森スマエ 議員

「免許証自主返納に支援を」

Q 地域おこし協力隊の活動の狙いは

A 若者達の外から目線で



宮坂 徹

Q 「地域おこし協力隊」事業は、総務省で平成21年から制度化したものが、今年度町がこの事業を行う狙いは、

A 以前から検討していたものの、

適した仕事が見つからなかった。御田町を中心に若者たちが開店し、移住して活躍してくれるなかで、昨年度移住定住促進室を設置し、首都圏から若者を中心に移住定住者を増やす施策を実施した。そうしたなかで、御田町やゲストハウスの若者達の思いや新たなネットワークができ、外からの目線で下諏訪を見てもらうことが重要であることを改めて感じた。昨年度mee mee center Sumebaを開設、外からの目線を大切にし、協力隊員に定住してもらい、下諏訪の情報を発信してもらうことを期待する。

地域おこし協力隊の活動分野は



「mee mee center Sumeba」での活動風景

Q どのような分野で活動するのか。

A 「下諏訪町地域おこし協力隊設置要綱」に規定する①産業の振興②地域資源の発掘③地域課題の解決④地域活動への参加及び支援⑤地域間交

流及び移住定住促進を中心に依頼。協力隊員を全課体制で支援。

Q 具体的な指針・計画は。また情報共有やフォローは。

A 情報発信として、移住相談対応、HPやSNSでの町の魅力発信。交流促進では、体験交流等の受付・企画運営補助。企画提案では、空き店舗利活用の検討など。サポートでは、活動の内容や予定の確認・調整を、週一程度職員と打ち合わせするなど、職員との意思疎通・情報共有し、全課体制でフォローを行う。

Q 委嘱終了後は。

A 町への思いの強い人を選じた。定住、起業への支援はしたい。

Q「垣根を無くす会」の フォーラムは

A 大いに期待している



岩村 清司

Q 諏訪圏青年会議所が「市町村合併に関して」未来像を探る動きが始めたがご意見は。

A 地方を担う青年が諏訪はひとつ

Q 埋蔵文化財センター 大いに期待

A 町歩き観光の
スタート地点に



青木 利子

Q 埋蔵文化財センターがオープンしてからの入館者状況は。

A 町外からが多く、平日は10人で週末は20人ほど。来館者の感想は

を論ずることを評価する。

Q 商工会議所が独自にアンケート調査を行ったことに関して、昨年の町長選挙時LCVが行った出口調査と同じ様に、約56%住民が「できるところから」の調査結果が出たが、ご意見をいただきたい。

A 一つの民意としてとらえたい。

Q 2市1町の合併に進むプロセスについては、住民の2%以上の署名が集まり議会で承認されると、法定合併協議会の設置が可能だが。

A 任意の合併協議会と、関係市町村協議会の議決を経て設置される法定合併協議会がある。住民発議を通じて法定合併協議会が設置される場合

「縄文時代の人はどうやって採掘していたのか現地に行つて見たい」「下諏訪はすごいと再認識した」等。リーダーもいて、女性が多い。



埋蔵文化財センター

Q 星ヶ塔現地の見学会の計画は。

もある。

Q R20号バイパスのアクセス道路の幅員等の事業進行は。

A 都市計画道路として幅16mと今の所なっているが、住民との意見を聞きながら検討していく。今年度中には、検討の場を予定。



垣根を無くす会のフォーラム

Q 地域コミュニティの理想は。

A 希望者を募つて実施したいが、通年開放は難しい。

Q 儀象堂の改修はどう進めるか。

A どのような情報発信ができるかを課題にして改修する。儀象堂を含めた一体的な整備の予定で、秋宮から立町へは民俗資料館の裏庭を通つて抜けると、ぼつと儀象堂の正面に出るという趣のある導線になる。周辺の町歩き観光のスタート地点にもなるように整備したい。また周辺の地域との連携も深めたい。

首都圏へ発信を

Q 先日松川村で地域おこし協力隊の活動について聞いてきた。当町の

A 一言で表現するのはむずかしいが、ひとつは「祭り文化」だと思う。『日頃から顔の見える地域』は素晴らしい。

新年1月1日6時

全員集合！

Q 7区東山田の取り組みとして、7町内85班、579世帯で班会開催。回覧板だけを回していた班がコミュニティが取れる班に変わり、「住み良い東山田仲良く明るく楽しい」をモットーに、「支え合い」のまちづくりを具体的な行動で動き始めた。

A いいことだと思う。

地域おこし協力隊への期待は。

A 移住定住という大きな枠の中で交流センター「mee mee center Sumeba」で働いていただき、下諏訪町を外から見たときの良さを知っている皆さんの視点で、下諏訪町の良さを首都圏の皆さんへ発信して欲しい。松川村は広大な施設があるので多くの地域おこし協力隊の方々が働いている。当町の場合は少人数でも、起業される方が生まれにくることを期待する。地域おこし協力隊員の採用は、しっかりと目的を持って担うべきものを明確にする必要がある。

Q 赤砂崎防災公園

右岸側整備計画は

A 本年度から 3年計画で推進



中村 光良

Q 赤砂崎防災公園の左岸側整備が終了となる。右岸側の整備に期待している。取り組みの見通しはどうか。

A 右岸側計画面積は約2万1千㎡。

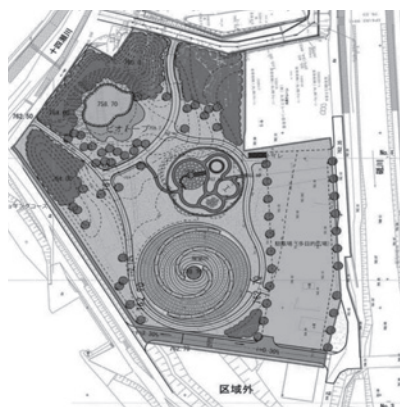
Q 水月公園盛り土安全か バイパス残土処理

A 調査済み、 安全工法で進める



小池 忠弘

Q 20号バイパス工事に伴うトンネル掘削の残土を利用する水月公園盛り土計画がある。土砂災害を含め安全性の確保や、住民との合意形成は。



整備計画が始まる砥川右岸用地

うち1万8900㎡を本年度の工事達成面積として更地にする。(本年度事業費は約1億7700万円。)

Q 来年度以降の見通しはどうか。

A 右岸の県有地を取得しながら、あずまやを設けた「丘の輪」、ビオト

A 盛土の高さは約5m。国がボーリング調査や水文調査済み。地盤が安定する工法で進める。関係団体には事前報告した。施工計画ができたら、地元説明会を開く。

町の景気動向、菱友醸造の影響

Q 町内の景気動向の分析は。税収への影響は。

A 信金の諏訪地方の景気動向が発表され、好転、改善方向にある。製造では半導体、省力化機械を中心に回復しているが、労働力確保に課題。税収では、上向きが予想される。

Q 菱友醸造の自己破産の影響と対応は。

ープや遊具を設置した「子供の輪」、右岸公園を一周するジョギングコース、トイレ、駐車場などを整備する。平成29・30・31年度で取り組み、32年度からの全面供用開始を目指す。

ボートのまち 更なる推進を

Q ボートのまちの発展を期待している。大会の計画や、PR活動についての考え方は、どうか。

A 下諏訪町はスポーツの町を唱っている。他のスポーツとのバランスも大切だ。適切に判断していく。

Q 艇庫の改修見通しについては。

A 本年度は測量、地盤調査し基本設計を計画。県の関係者と協議し、

A 町唯一の造り酒屋。ブランドを残せないか、様子を見ながら対応したい。町債権は、若干の影響。

労災リハ跡地 利活用計画は



プロジェクトで、利活用が検討される労災リハビリセンター跡地

Q 「道の駅」構想と、それまでの活

東京五輪までに新築予定。

国道バイパス 進捗見通しは

Q 岡谷下諏訪第一工区の計画は。

A 第一工区は4つに区分されて計画されている。併せて国道142号の改修が行われる予定である。

Q 諏訪バイパス環境アセスメントの方法書の説明会が開催されたが。

A 町への意見書提出は無かった。今後の町の姿勢はどうか。

A 水月園、春宮、慈雲寺周辺の植生保護への地元の意向は充分承知している。今後の計画進行に併せて、町としても課題を共有して、慎重に対応したいと考えている。

用は。官舎の住宅利用もできるので。いずれ解体時の費用見込みは。

A 利用は「しごと創生」を中心に、プロジェクトで検討。大規模投資はせず、補助金活用で整備。現段階では、国にアクセス道路確保を求める。更地にするには、1億6千万円の見積もり。

教師の多忙化 解消につなげる

Q 文部科学省調査で小中学校教員の長時間勤務が、過労死ライン以上。町の実態と解消策は。

A 時間外、休日勤務、持ち帰りなど把握している。職員会議の見直し、年次休暇の取得など検討。子どもと向き合う時間の確保に努めていく。

Q 就学援助のランドセル等補助について

A 今年度入学前に支給



河西 猛

Q 就学援助にランドセル等の学用品の補助の状況は。

A 国は今年3月、入学準備金を支給できる交付要綱の改正を行った。

小学校入学年度開始前でも支給を受けられる。就学援助支給対象者への予算を確保し、支給時期についても対応する。

特定健康診査受診率向上は

Q 特定健診の受診の推移は。

A 14年度34・8%、15年度36・2%、16年度は38・8%。40、50歳代の男性が低く、職員による個別訪問で受診を勧めている。

Q コンビニを会場にした健診など実施場所の工夫は。

A 会場にゆたんぽを追加し、個別健診を実施。会場の設営の課題もある。地道にPRしていきたい。

Q 給食費の無償化を

A 8800万円の

財源が必要



森 安夫

Q 国民健康保険税の税率を平均15%上げるが、国保税を上げないで収入を増やすことや医療費の抑制を考えるべきでは。

A 行政として地道な取り組みが必要。重症化してから医療機関にかかる傾向があり、検診を受けてもらい早期対応など日頃から健康を意識してもらおうことが大切。

Q 高齢者の就労を増やすことで健康が維持できるとの統計がある。また国保税の増収にもつながる。

A 高齢者を雇用する企業からはメリットが多いとの声がある。伏見屋邸や子育てふれあいセンターなど町の施設の中で携わってもらい、シルバー人材センターに業務委託も。

いずみ湖周辺の電波改善を

Q いずみ湖周辺の携帯電話非接続

住宅耐震化などPRを推進する

Q 減災設備・リフォーム補助事業や住宅耐震化のPRはどう進める。

A 町内ではまだ2290戸が耐震化されていないと推測される。戸別訪問や各種広報などでPRしていく。

Q 耐震シエルトをものづくり支援センターの取り組みで開発できないか。

A 下諏訪発で開発できれば素晴らしい。

ものづくり支援センターが1億円突破

Q ものづくり支援センターの28年度受注あっせん実績が初めて1億円

の改善を。

A ソフトバンクに加え、ドコモも本年度末から来年度初めに基地局の設置工事に着手する。これでユーザーの70%は確保できる。auについても引き続き要望していく。



を突破したが、要因は。

A 量産案件のスタートなどが原因。今後も同様の事例が見込まれ、増えていくのではないかと関係者がこつこつ努力してきた成果でうれしく思う。今後も人材確保や足腰の強い企業体質づくりに向けて努力する。



昨年の諏訪圏工業メッセにて

給食費の無償化を

Q 少子化対策で給食費の無償化にはいくらの財源必要か。全国では57の市町村が無償化しているが。また保育料の引き下げはできないか。

A 給食費は町内4校で8800万円。すべてを無償にすれば、他の事業にも影響が出る。国の動向に注視。

保育料については2子、3子など軽減措置もある。全部を無償化するのは難しい。町としてできる支援を今後も考えたい。



Q 厳しい国保世帯
税率アップやめて！

A もう限界 ご理解を



金井 敬子

Q 国保税率の平均15%もの大幅な税率引き上げに対し、「下諏訪町国保税の値上げを止めさせる会」が、署名1318筆を提出し町長に反対の

申し入れを行っているが、どう受け止めているか。

A 重く受け止めている。6年間値上げをせずに何とかやりくりしてきたが、もう限界。厳しい状況を理解いただけるよう、説明責任を果たしたい。

Q 国保の財政状況は。

A 単年度収支は4813万円赤字、基金は3285万円、繰越金はゼロの見込み。

Q 国保加入1世帯当たりの所得額は、平成28年度119万7千円で、前年度に比べ7千円減少。7割、5割、2割の保険料軽減を受けているのは、合計1916世帯で国保加入世帯の

63・2%を占めており、前年度より増加。1世帯当たりの平均

所得額は、国保税は、所得額の10・2%に相当する。

今回の税率引き上げで、低所得者層へ配慮がされても10%以

区 分	収入(年)	国保加入世帯に占める割合	税率改定の影響額(年)	引き上げ率
低所得 7割軽減	72万円	29%	3,500円	10.5%
低所得 5割軽減	108万円	17%	6,400円	12.5%
低所得 2割軽減	168万円	17%	20,700円	15.5%
一般	264万円	37%	40,000円	18.2%

所得階層別モデルケース 国保税率引き上げの影響

上の値上げだ(上表)。なんとしても増税は止めて！不足する分は、一般会計からの繰り入れ増額で賄うべき。

A 昨年度と今年度、3千万円ずつ「法定外」の繰り入れをしているし、「法定内」でもかなりの額を入れている。これ以上の「法定外」繰り入れは、国保以外の若い世代への負担増となり、理解は得られない。

通学路の安全確保策を

Q 通学路を中心にした歩道の安全確保の手段として、「ゾーン30」を拡大したらどうか。

A ゾーン決定には、地域住民の理解が必要不可欠。警察とも協議していく。

Q 運転免許証自主返納で
町の支援策は

A タクシー券 年24枚



藤森 スマエ

Q 町の高齢者の免許保有者数、事故件数、免許証自主返納者の数、返納時の町の支援策は。

A 保有者は平成28年12月末で、4

430人。平成28年1月～12月の事故件数は、町内8件、町外25件、死亡はゼロ。高齢者の事故数は、全体の37%を占めている。免許証自主返納者は、平成24年28人から平成28年90人と増加している。自主返納者は、タクシー券24枚、バス券96枚、入浴券60枚のいずれかを、毎年申請すればもらえる。自主返納時の返納証明書の手数料千円分のタクシー券も支給している。

Q 「あざみ号」の方針は。

A 来年度のダイヤ改正に向けて、アンケート結果を具体的に検討する。より一層地域の声を反映させ、利便性の高い公共交通にしていきたい。

「本陣」の位置づけは

Q 環境保全や災害防止対策も含めて、太陽光発電設置に関するガイドラインの制定を求める。

A 現在町内には、地上大型太陽光発電設備の設置は、10カ所程度と認識している。設置によるトラブルで、ガイドライン策定の自治体が増えている。再生可能エネルギーを対象に、市内プロジェクトを設置し検討を進めている。

Q 諏訪実業高校の調査研究で、観光客の滞在時間延長策として「本陣」の活用が提案された。私も、同感。「本陣」をどう活かすか、町指定文化



町指定文化財「本陣」の活用を

皆さんのご意見を政策に！

1. 観光・情報発信について
2. 防災・防犯について
3. 教育について
4. 町施策全般について



4月17日 政策提言書を提出

このたび、町長から議会の政策提言に対する回答をいただきました。昨年来「開かれた議会」を目指し、議会報告会や各種団体との懇談会を通して、住民の皆さんのご意見をうかがってきました。こんな町だったらいいな、とかこんな町づくりをしてみたい、というご意見をいただく中で、町議会としての問題意識や住民の意見に対しての議論を深め、集

約を図った結果を政策提言とし提出し、回答を得たものです。

観光

「諏訪湖を活かしたまちづくり」

提言 観光についてはSNSやアプリの開発による誘客が効果的で諏訪湖周辺を一つのエリアと考えた広域的な観点からの観光を推進すべき。新しい発想の観光と情報発信を強く望む。

回答 観光アプリは「信州ナビ」が4月から運用を開始、情報提供している。Facebook「すわたび」もある。諏訪湖周をエリアと考えた広域観光は、6市町村が連携し、ジョギング、サイクリング、ウォータースポーツ、健康づくりといった観点から広域的に展開・情報発信していく予定。

防災

ジュニアサバイバルで命を自ら守る

提言 防災訓練と現実の意識にズレがある。危機意識を家族全体や子供とともに持てるような訓練と啓もう活動が必要だ。防災備品の量や水害被害に対する住民不安は払しょくされていい。

回答 住民意識の向上のため、防災リーダー研修のほか、小学校5年生のキャンプに合わせてジュニアサバ

イバル教室を開催し、自分の命は自分で守る行動を学ぶ。

防災備品は全地区に無線・浄水器などを計画的に配備するほか、家庭用災害備蓄品を追加して斡旋補助する。



政策提言は初めての取り組み
5月30日に回答を受ける

教育

小中一貫した教育の充実を図る

提言 少子化が進む中で、子どもたちの能力を最大限に発揮させるため、住民の積極的な意見交換の機会を設置するとともに、町当局の長期的展望に基づく指導力を望む。

回答 小中一貫した教育の充実を図るため、9年間を見据えた教育システムを構築するとともに、部活動も合同チームの編成による継続性など協議していく。

少子化の影響とされる、切磋琢磨の機会の減少、親の過保護・過干渉などの課題については、家庭・学校・地域社会においてそれぞれの役割を果たしていく。

生活

愛される「あざみ号」に

提言 防災リハビリセンター跡地の活用は、住民サイドの検討会の設置など、住民要望に応えるべく方向付け願いたい。

高齢者に不可欠な公共交通には、様々な課題・要望が提示されており、より一層の改善を望む。

回答 防災リハビリセンター跡地については、商工会議所・ものづくり支援センター・地元住民を交えた「テレワーク・クラフトタウン構想プロジェクト」による検討会を設置する。「あざみ号」は地域の皆様・有識者による「公共交通検討委員会」を設置し、愛される「あざみ号」として利便性の良い運行を図っていく。

懇談会形式で

みなさまの声を聴きました

今年1月末、下諏訪総合文化センターにおいて、議会報告会を開催しました。寒い中、多くの方にご参加いただき、本当にありがとうございました。

今回も、前回と同様、町民の皆様からのご意見をより多くお聞きする場にしたという思いから、全体会の時間を短くし、4つのテーマの分科会の時間を長く設けました。それでも、分科会によっては時間が足りず、充分に発言をいただけなかった方もおられ、申し訳ありませんでした。各分科会の内容は、その後、議員全員で共有しました。いただいたご意見のいくつかをお伝えします。

テーマ：ひとづくり

親も相談できる環境を

- ・英語特区や英語研修は良いと思うし、将来につながることを期待する。JAXA（宇宙航空研究開発機構）の教育も、もっと進めてほしい。
- ・地区の行事に子どもが参加することで、育っている。下諏訪はそうしたことが進んでいるのに、大人はその良さに気づいていない面もある。古くからの良さも大事に取り込んで、地域一帯で取り組むべき。防災訓練などにも子どもの参加を求めれば、地域の中での体験の場が増え、まちづくりにも繋がる。
- ・近隣自治体に比べて、未満児保育の受け入れ等、進んでいるが、当事者たちは仕事と子育てに夢中で、町の魅力に気づけてない。フェイスブックなどを活用して、もっと情報発信してほしい。



分科会での意見交換

テーマ：ものづくり

労災リハ跡地活用に 意見多数

- ・挨拶を積極的に行える子どもたちが多いのは素晴らしいことだが、自らの考えを言葉にせず、「右へ倣え」の傾向が強いのでは。もっとディベート教育をすべきでは。
 - ・子どもも親も、もっと気軽に相談できる場がほしい。
 - ・子育てサポートは、もっとPRをすべき。
 - ・学卒後、若者が戻ってこられる雇用環境が必要。
- 労災リハビリテーションセンター跡地活用について
- ・敷地内の職員住宅、所長住宅はまだ新しく、すぐにでも住めそうなので、活用すべき。東北や熊本の被災者の移住場所にしたらどうか。
 - ・廃業した精密業者から機械を借りて、旋盤やフライス盤を教える場にしたらどうか。将来のものづくりの担い手を育てられるのではないかな。

有効利用については、早く、多くの意見を聞いてほしい。ものづくり支援センターを移す。3Dプリンターを導入する。介護施設にしたらどうか。イベント開催の場にしたらどうか等、色々な考えを町民は持っている。

町の特徴をどう掘り起こして、産業に結び付けていくかが、問題。

町、議会、商工会議所がもっと連携すべき。

町の人口減少の原因をしっかりと分析し、今後を考える必要がある。

サイクリングブームを活かすべき。諏訪湖一周等、広域で進めるべき。

レンタル自転車の返却方法を、各所にポイントを作って「乗り捨て方式」にしたらどうか。



全体会の様子

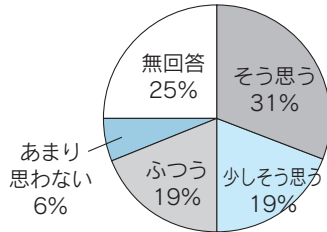
機能する防災会組織を！

- ・地域防災会組織がほとんど機能していない。防災士が51人誕生しているのに、防災士の関わりも含め機能する組織として見直してほしい。
- ・ハザードマップ作成後に検証した。すると問題が多々出てきた。作成したら検証もしてほしい。
- ・消防団員は皆区外に勤務し日中の災害には即座に対応できない。女性の参加も含めた組織づくりが必要。
- ・熊本地震は想定外のことが多い地震だった。議員も視察してその状況を住民に伝えてほしい。
- ・今は変化の激しい時代。「防災意識日本一」のまち」は4年の内ではなく1年で達成してほしい。

議会報告会時 アンケート結果(抜粋) 町の皆さんにとって 下諏訪町議会は「開かれた議会」？

- 懇談会が主な議会報告会は、内容充実していたと思いますか？

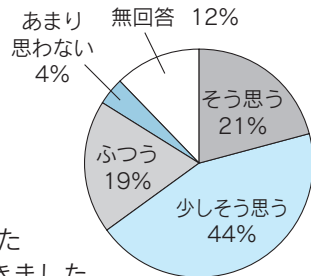
そう思う 31%
少しそう思う 19%
ふつう 19%



- ＊「そう思う」との回答が
前回より10%増加しました。

- 下諏訪町議会は町民の皆さんに「開かれた議会」だと思いますか？

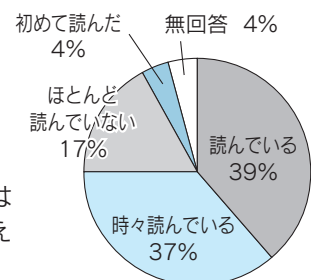
そう思う 21%
少しそう思う 44%
ふつう 19%



- ＊合計65%の方に「開かれた議会」だと評価をいただきました。

- 議会だよりを読んでいますか？

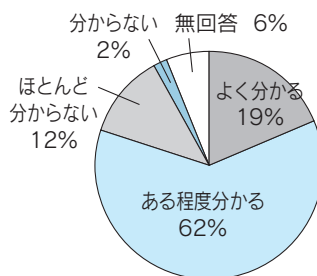
読んでいる 39%
時々読んでいる 37%



- ＊読んでいただけている方は
76%で、少し前回より増えました。

- 議会だよりで、町議会で議論された内容は分かりますか？

よく分かる 19%
ある程度分かる 62%



- ＊81%の方に「分かる」と、前回より評価をいただきましたが、引き続き読みやすく、分かりやすい紙面づくりを心がけます。

下諏訪の良さが認識できるまちに

テーマ：まちづくり

- ・高齢化対応の町内会事例として、清水町では「高齢化を考える会」を立ち上げ、「独居高齢者に防災備蓄品配布で見守り・声がけ」、「注連飾り製作・取り付け」事業などを実施している。
- ・ながまコミュニティスクールで地域と共に子どもを育てようと活動している。学校の活動に地域の人のお手伝いがほしいが、協力いただける人を紹介してほしい。
- ・小学校で英会話を取り入れた授業をしているが、町の看板や説明文に英語表記がない。どこに行っても英語が目につく町にしてほしい。オリンピックの合宿誘致をしているのだから、もっと英語に力を入れてはどうか。
- ・県外から移住し、定年後もここに暮らし外国人向けのボランティア活動をしている。この町が好きだが、この町の良さがもっと認識される町にしたい。
- ・観光地（諏訪市）で接客の仕事に携わっている。下諏訪の万治の石仏や諏訪大社に行きたいと望む人がいても交通手段が乏しい。団体客も多く来るが、「いかにお金を落としてもらうか」を考えるべきではないか。
- ・高齢者が外に出て歩ける町にして、安全で住みやすい町にしてほしい。

好きです しもすわ



伏見屋邸友の会
ボランティア子供を見守る会
嶋田十三男

「目立たない活動に光を！」

議会の傍聴や議会報告会に参加させてもらい思うことは、皆さん本当に真剣に取り組まれるその姿勢に魅せられ、つい一言提案したくなりました。ボランティアが活発な地域は、綺麗でどこか雰囲氣的に違うと感じています。当町の場合も何年

も一人でコツコツと除草に取り組んだり、国道沿いの植え込みの手入れをしたり、子どもの通学路の安全確保に十年以上も取り組んでいるのに見過ごされているケースがあります。目立って活動している人を表彰することも大切でしょう。しかし、目立たないが活動している人を探し出すのは大変かもしれませんが、そういう人を発掘して表彰することにより、町民誰もが表彰対象であり、自分のできることでまちづくりに参加できれば、もっともっと活気あふれる下諏訪町になると思います。

表彰のあり方や、ボランティアへの取り組みなどを議題に取り上げてもらえたらと思った次第です。

=表紙写真=

シルバー人材センターの会員でつくるボランティア「子供を見守る会」の皆さんの活動は、地域に馴染み、安全確保に貢献されています。

=お知らせ=

今年の議会報告会は
平成29年11月2日(木)
に開催いたします。

好きです しもすわ



〔建てぐるみ〕

歴史ある町をもっと素敵に

清明祥庵店主
渡辺 伸二

初めまして。今回議会からご依頼をいただき驚きました。

祖父が飲食店を営んでいたこともあり、いつかは独立したいと思っていたところ、友人からの紹介で春宮のそばに、明治末期に建造された諏訪地

方の伝統的建築の「建てぐるみ」(母屋が土蔵を抱きかかえるように配置された民家)の家が空いていると聞き、ここならそば屋の雰囲気合うと思いい開業しました。

春宮周辺には見所が多いと思いますが、駐車場が少なく案内板も目立たなく、滞在時間が僅かだと感じています。

近年、万治の石仏がパワースポットで注目度が増し、御朱印ブームもあり、春宮から秋宮間は散策にはちょうどよい所だと感じます。

歴史ある町なので、後世に胸を張って良い観光地だといってもらえるように、皆さんとともに考えていけたらと思います。

編集後記

広報特別委員会のメンバーが4人から6人に増え、新たな体制で編集に臨みました。気持ちは常に、「読んでもらえる」、「読みやすい」広報をつくるという姿勢です。是非ご感想・ご意見をいただきたいと思っています。

(T・M)

広報特別委員会

委員長 宮坂

徹



副委員長	金井 敬子
委員	森 安夫
委員	青木 利子
委員	中村 奎司
委員	岩村 清司